

# カキ生育情報

第 1 号  
千葉県農林水産部  
令和 3 年 5 月号

3月の気温が高く推移したため、発芽は平年より早くなっています。5月に入ると、大玉で高品質な果実生産を目指す上で重要な摘蕾及び受粉作業が始まるので、適期作業に努めましょう。

## 1 令和3年3～4月の気象

暖地園芸研究所における令和3年3～4月の半旬別の気象を表1に示した。

3月の平均気温は全ての半旬で平年より高かった。月平均気温は12.7℃で、平年より3.5℃、前年より1.6℃高かった。

降水量は第3及び第6半旬を除き平年より少なかった。月合計は177mmで、平年の95%、前年の73%であった。

日照時間は第1、第2及び第5半旬は平年より少なく、他は平年より多かった。月合計は166時間で、平年の106%、前年の98%であった。

4月の平均気温は第2及び第5半旬を除き平年より高かった。月平均気温は14.4℃で平年より0.5℃、前年より1.1℃高かった。

降水量は第1及び第6半旬を除き平年より少なく、第2半旬は降雨がなかった。月合計は129mmで、平年の74%、前年の65%であった。

日照時間は第1半旬を除き平年より多かった。月合計は227時間で、平年の132%、前年の119%であった。

表1 令和3年3月～4月の気象（暖地園芸研究所）

月	半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(時間)		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
3	1	11.1	7.7	10.2	15	24	40	21	26	19
	2	10.1	8.1	10.6	12	22	47	14	27	16
	3	11.7	8.9	10.9	70	29	13	28	26	36
	4	13.8	9.6	12.0	2	22	37	38	25	43
	5	13.4	10.0	11.0	29	48	3	20	24	41
	6	15.6	10.5	11.9	50	41	105	45	30	16
平均/計		12.7	9.2	11.1	177	186	244	166	157	170
4	1	15.6	11.7	13.6	31	28	49	24	27	46
	2	11.4	13.1	12.4	0	26	0	37	28	40
	3	13.7	13.5	11.4	6	27	56	33	28	19
	4	14.9	14.2	13.3	25	37	95	40	28	27
	5	14.7	15.0	13.5	1	36	0	58	30	25
	6	16.0	15.7	15.5	68	20	0	35	31	35
平均/計		14.4	13.9	13.3	129	174	199	227	172	191

## 2 5～6月の作業

### 1) 摘蕾と受粉

摘蕾は原則として開花7～10日前の期間(5月上中旬)を目安に、1結果枝当たり1蕾を残すように行う。母枝先端付近の生育の良い長い結果枝では、2蕾残してもよい。

結果枝中央部のものか、基部から数えて2～3番目の充実した健全なもので、横向きでヘタが大きく、果梗の太い蕾を残す。それ以外の蕾は摘除する。5葉以下の結果枝の蕾は全て落とす。目標とする着果量に対して、「松本早生富有」及び「富有」では1.2倍、「西村早生」では渋果対策のために、1.5倍の蕾を残す。

人工受粉は不完全甘ガキの「西村早生」、単為結果性の弱い「伊豆」では確実に行う。「富有」は受粉樹が適切に混植(混植割合が1～2割程度では場に均一に配置)されていれば省略してもよいが、その場合は蕾を上記よりやや多めに残す。「次郎」、「平核無」では人工授粉は行わない。

## 2) 枝管理

副芽や不定芽の発生が多いと、枝葉が込み合うため、生育バランスを崩し、病害虫の発生を助長する。副芽は全て摘除し、不定芽は、来年の結果母枝となる予備枝として必要なもの以外は摘除する。なお、大きな切り口付近の不定芽は、傷口の癒合を早めるため、弱めの枝を2、3本残す。

## 3) 病害虫防除

開花直前の5月中旬は、炭疽病、黒星病、落葉病の予防時期であり、スリップス類、カイガラムシ類、ケムシ類の防除時期でもある。

また、6月上中旬には、炭疽病、落葉病とカキヘタムシの防除時期となる。「西村早生」では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。うどんこ病の発生が多い園では、うどんこ病の防除を同時に行う。防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

## 3 樹の生育

発芽期を表2に示した。暖地園芸研究所では、発芽日は「西村早生」が3月11日、「松本早生富有」が3月13日、「富有」が3月16日で、「西村早生」は平年より12日、前年より14日、「松本早生富有」は平年より13日、前年より11日、「富有」は平年より11日、前年より9日早かった。また「西村早生」の着蕾量は前年より少なく、雄花が多く見られた。「松本早生富有」及び「富有」の着蕾量は前年並であった。また強風により、新梢の枝折れや新葉の傷害がみられた。

いすみ市の「西村早生」は3月22日で平年より7日、前年より1日早かった。市原市の「松本早生富有」は3月30日で平年より2日、前年より1日早かった。

表2 カキの発芽期(月.日)

品 種	調査地	発芽日		
		本年	平年	前年
西 村 早 生	いすみ市	3.22	3.29	3.23
	暖地園研	3.11	3.23	3.25
松本早生富有	市 原 市	3.30	4. 1	3.31
	暖地園研	3.13	3.26	3.24
富 有	暖地園研	3.16	3.27	3.25

平年：暖地園研は1990年～2020年の平均、□

いすみ市は1998年～2020年(2010年を除く)、□

市原市は1999年～2020年の平均(2014年、2015年を除く)

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>